第3回 WE ACTION MEETING

2月22日(火) 15：30～17：30　オンライン

参加者：44名（WEクラブ17名、パートナー16（7社）、メディア5、WEリーグ３、登壇者３）

女性30名、男性14名

１．オープニング

２. 自己紹介

３．海外の事例紹介

４．宿題（解決案）発表　　クラブ11、パートナー７　18個の解決案を発表

５．すぐに解けそうな課題を探して投稿

６．「理想のスタジアムを実現するために」グループに分かれてディスカッション

７．クロージング

目をつけた課題

こんな解決ができるかも（アイディアのタネ）※実行する／しないは別

アイデアを実現するために連携したい／連携が必要なWE ACTION MEETINGに参加している人/クラブ/企業をご記入ください（任意）

クラブ名、企業名：

名前：

解決案　＜例＞

- チームの呼び名問題
  → 「レディース」という名前をとる　＜例＞マイナビ仙台

- 体育での男女別制度の問題
  → 性別、障害の有無、運動能力に関わらず、みなで楽しめる「ゆるスポーツ」を行う。

- 女性の自己肯定感が低い問題
  → WEリーガーが変えていこう。自分たちのことを肯定する
  → 1日一回ほめるようにする。ほめられたら「ありがとう」という

- 男は青、女は赤、ピンクと決められている問題
  → ニュートラルカラーを作る

WEリーグの「理想のスタジアム」実現のために

選手それぞれの「WE STORY]を作り発信する

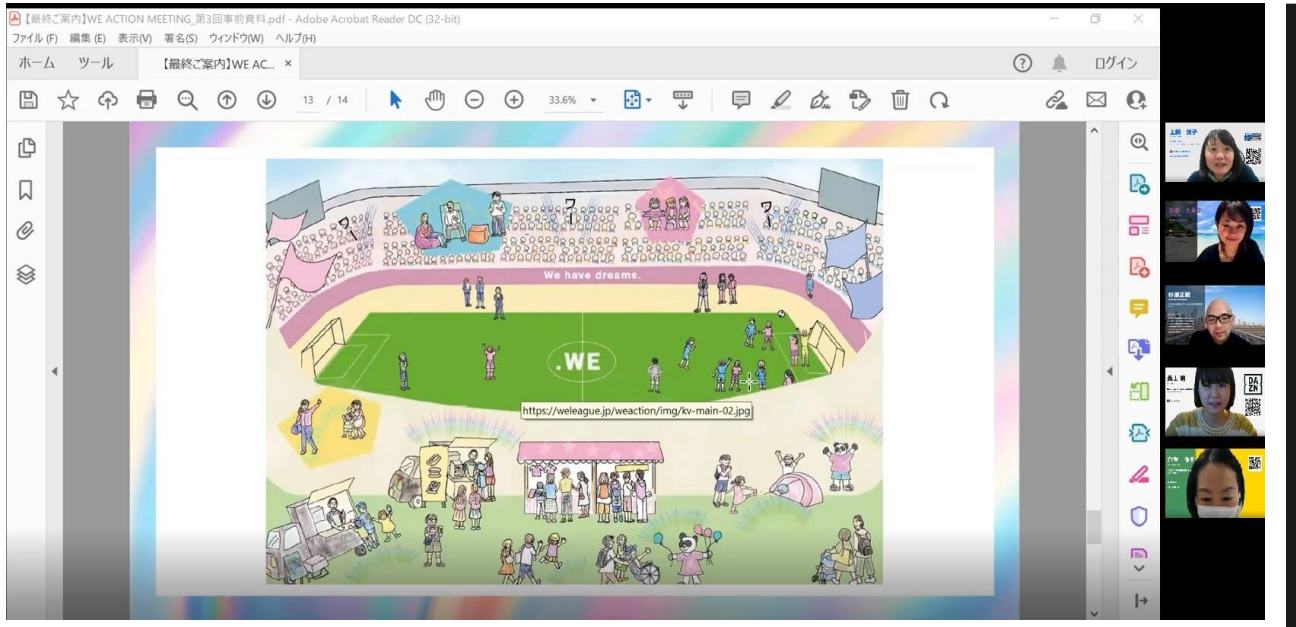
スタジアムをお祭りの場所にする

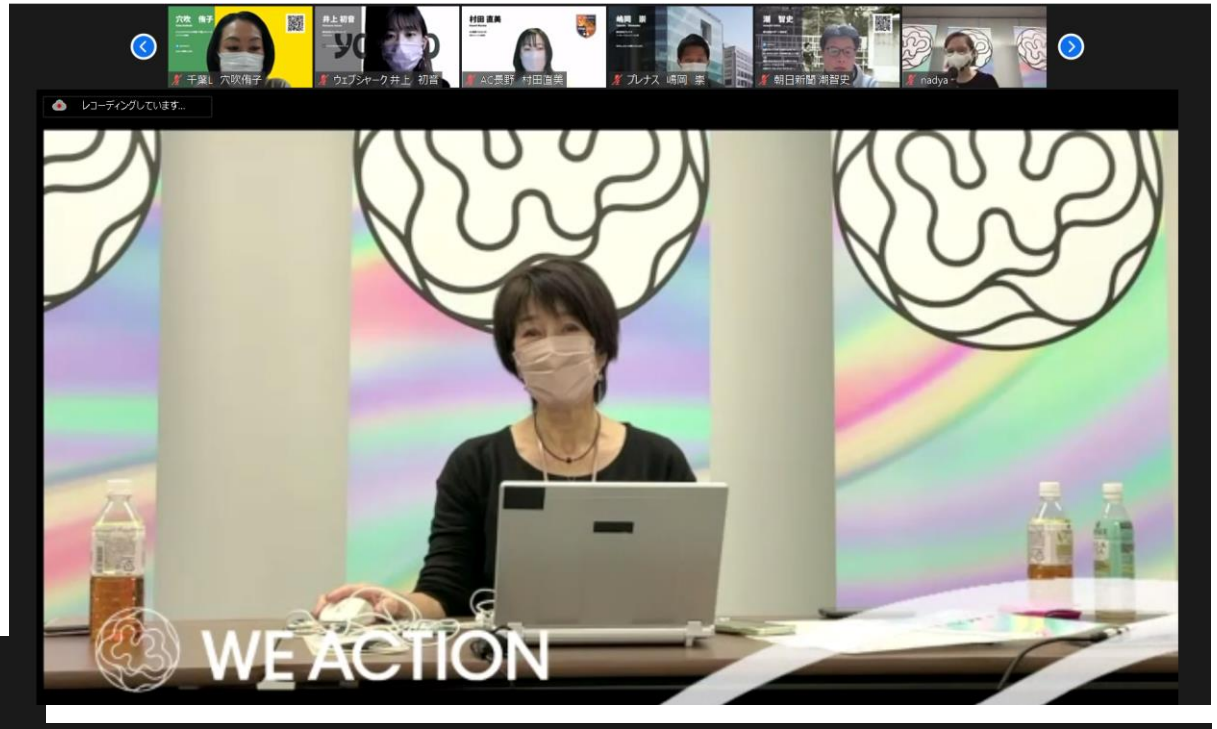
スタジアムを365日使えるようにして、
ヨガ教室をしたり、地域のNPOの活動の場、
テレワークの場所などにする

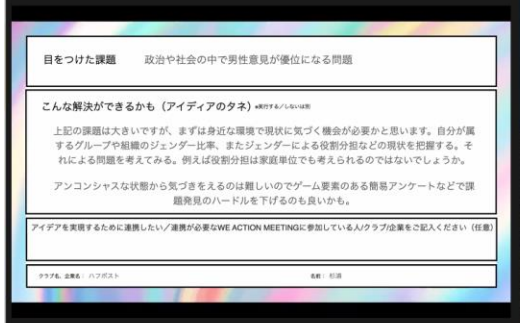
ファミリーデー、年代別デー、
サウスポーデー、血液型別デー
などを作る

女子トイレを増やす

サッカー×〇〇　という企画をする
（例）食べ物、ゲーム、ファッション







目をつけた課題　政治や社会の中で男性意見が優位になる問題

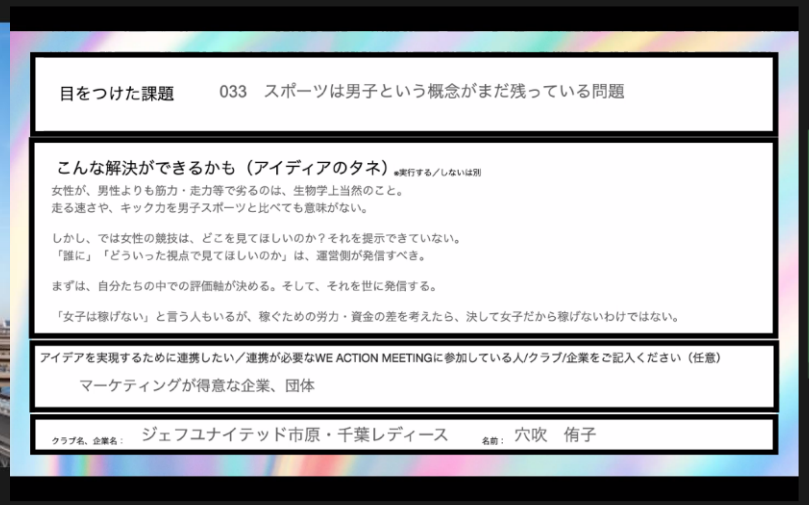
こんな解決ができるかも（アイディアのタネ）●実行する／しないは別

上記の課題は大きいですが、まずは身近な環境で現状に気づく機会が必要かと思います。自分が属するグループや組織のジェンダー比率、またジェンダーによる役割分担などの現状を把握する。それによる問題を考えてみる。例えば役割分担は家庭単位でも考えられるのではないでしょうか。

アンコンシャスな状態から気づきをえるのは難しいのでゲーム要素のある簡易アンケートなどで課題発見のハードルを下げるのも良いかも。

アイデアを実現するために連携したい／連携が必要なWE ACTION MEETINGに参加している人/クラブ/企業をご記入ください（任意）

クラブ名、企業名：ハフポスト　名前：杉浦



目をつけた課題　033　スポーツは男子という概念がまだ残っている問題

こんな解決ができるかも（アイディアのタネ）●実行する／しないは別

女性が、男性よりも筋力・走力等で劣るのは、生物学上当然のこと。
走る速さや、キック力を男子スポーツと比べても意味がない。

しかし、では女性の競技は、どこを見てほしいのか？それを提示できていない。
「誰に」「どういった視点で見てほしいのか」は、運営側が発信すべき。

まずは、自分たちの中での評価軸が決める。そして、それを世に発信する。

「女子は稼げない」と言う人もいるが、稼ぐための労力・資金の差を考えたら、決して女子だから稼げないわけではない。

アイデアを実現するために連携したい／連携が必要なWE ACTION MEETINGに参加している人/クラブ/企業をご記入ください（任意）

マーケティングが得意な企業、団体

クラブ名、企業名：ジェフユナイテッド市原・千葉レディース　名前：穴吹　侑子

参加者からの感想

- 宿題があって、この回までに準備して、望むことができた！ 未来のアイディアブックも買いました！アイディアって簡単に考えていいんだなとか、自分からできそうなことから行動すればいいのかときづきました。

- 課題に対してクラブや企業が様々な目線で話し合うことで自分1人では思いつかなかったアイディアが沢山生まれました。それぞれ手を取り合い協力することで、課題解決へつながる可能性を感じることができました。

- 家庭内でジェンダー平等について話をするようになりました。

- 改めて考えを言葉にする良い機会になったり、より、女性に優しいのはもちろんあらゆる人に楽しんでもらえるスタジアムづくりをしていきたいと感じました。